

ポリエステル (1981)

POLYESTER

メディア 映画

ジャンル モンド

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 86分

初公開日 1986/11/01

公開情報 ぴあ

【解説】

悪趣味（バッド・テイスト）映画の天才児ウォーターズが、アングラから“メイン・ストリーム”に殴り込みをかけた、初期の毒々しさを欠いてもなお燦然と輝く傑作。彼の故郷、東海岸ボルティモアの“ノーマル”な価値感を愛しつつぶち壊す手並みは、史上初導入のオドラマ・システム（これ自体、ウィリアム・キャッスルの手法のパロディで、匂いが出るカードを引っかきながら観る。実際、劇場公開ではそれが配られ、市販ビデオにも付録でついていた）の介助なくとも、観るものを狂喜（あるいは呆れ）させるはず。ヒロイン、フランシーンの息子はシンナー中毒で、町を騒がす“足先踏み魔”。娘はゴーゴー・ガールを夢みる不良少女で、恋人ルルと箒を使って通行人のお尻の“玉突き”に興ずる（被害に遭い怒った黒人のオカミさんがバスを乗っ取って彼らの車を追う痛快なギャグあり）。ポルノ映画館主の夫は秘書と浮気して家を出た挙句、あらゆる嫌がらせをフランシーンに向けて行い、彼女をアル中に追い込む。唯一の相談相手である、祖父の遺産で超リッチになった元女中カドルスも自分の社交界デビューに気もそぞろ。最も恐ろしいのは、自分を虐待し続けた実母の訪問で、うちひしがれたフランシーンに更に追いうちをかけるような口をきく。やがて、娘の妊娠発覚。息子の逮捕。彼女は絶望し自殺を図るが、それも失敗しマスコミの笑いのタネになる。けれど、そんな彼女に王子様が現われた。彼、トッドはハンサムなドライブ・イン・シアターの持ち主で新車のコルヴェットのデートで彼女を夢ごこちにさせ、永遠の愛を誓うのだが……。ベッドでのおなら、ガス、オイル、靴、スカンク、もちろんバラその他いい匂いも、画面隅のナンバー表示が“嗅げ”と教えてくれる驚異のオドラマはぜひ体験してみたいが、愛すべきディヴァインの“よき主婦”になり切りぶりが格別素晴らしく、それだけで“満点ママ”だ。

【クレジット】

監督	ジョン・ウォーターズ	John Waters
製作	ジョン・ウォーターズ	John Waters
脚本	ジョン・ウォーターズ	John Waters
撮影	デヴィッド・インスレー	David Insley
出演	ディヴァイン	Divine
	デヴィッド・サムソン	
	タブ・ハンター	Tab Hunter
	ミンク・ストール	Mink Stole